



いるかくじらだより

ついにこの日が…!!



7月ごろからずっとこの日を楽しみに、準備を一生懸命してきた子どもたち。たくさん頑張ったからこそ、8月4日のお祭りごっこは子どもたちにとって、とても素敵な日になったようです！

それぞれのお店屋さんごとに話し合い、子どもたち自身がお店の内容や作るものなどを決め、活動を進めていきました。話し合いをする中で友達と意見がぶつかったり、作っていくなかでイメージと違う、なんかうまくいかない…とどこかしらを感じたりしている姿もありました。そんな時には、お友達やくじら組のチームリーダーたちが、話をまとめようとしてくれたり、新しいアイデアを出してくれたりと様々な方法で助けてくれました。各チームそれぞれの方法でメンバーと助け合いながら協力し合いながら、準備期間を過ごしていたようです。

また、同じチームのお友達とイメージの共有をすることが難しく、「やり方が上手く伝わらない、こうしてほしいのに…」悩む姿もありました。言葉で伝える難しさや複数のお友達と一緒に何かを作り上げていく難しさなど、様々な思いや経験をしたからこそ、当日は楽しさや嬉しさ、達成感などから笑顔が溢れ、子どもたちにとって、とても楽しい一日になっているんだなと感じました。



わたがし屋さん



かきごおり屋さん



おめんまとあて屋さん



きんぎょすくい屋さん

お店屋さん役になった時は自慢げに自分たちの作った商品や景品を渡したり、「〇〇くん(ちゃん)が作った！」と楽しそうに話したりと笑顔が絶えず、お部屋に戻ってからも「たのしかったね～。またしたいね～」と嬉しそうにお話をしてくれました。

お昼やおやつメニューも子どもたちが調理さんにリクエストしたものです！4階でご飯をたべたことも子どもたちが発信してくれたアイデアです！今回のお祭りごっこは、子どもたちの「これがしたい！こうしてみたい！」という気持ちから生まれたものばかりです。保育者自身、子どもたちが自分たちで全てを作り上げていくということに、少し心配な気持ちや不安な気持ちを感じていました。子どもたちの意見を全て反映していくことは難しい。できることもあれば、難しいこともある。そんな中で、どれだけのことも実現させてあげることができるだろうか…と。でも、子どもたちはそんな保育者の心配をよそに、それぞれが自分のペースで自分の気持ちを実現させ、葛藤を乗り越え、お祭りごっこという大きな行事をやり遂げました。子どもたちの成長を近くで見届けられたことを嬉しく思うと同時に、この経験が、達成できたという喜びが今後の子どもたちの糧となってくれたらと思います。

